

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名
製品コード

Plexus Plastic Cleaner Protectant & Polish
PL198 (NET 7.0 OZ/198 G), PL368 (NET 13.0 OZ/368 G)

製造者
会社名
住所

BTI CHEMICAL COMPANY INC.
10120 W. FLAMINGO RD.SUITE 411 LAS VEGAS, NV 89147

日本総輸入発売元
会社名
住所
電話番号
緊急時の電話番号
FAX番号
メールアドレス
推奨用途

株式会社 スマートビジョン
東京都中央区日本橋1-14-7 明治安田生命江戸橋ビル9階
03-3548-0775
03-3548-0775
03-3548-0776
plexus@smart-vielon.co.jp
プラスチック製品の洗浄、艶出し、および保護剤。使用前によく振ってください。

2. 危険有害性の要約

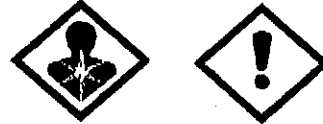
GHS分類
健康に対する有害性

吸引毒性
注意喚起語
危険有害性情報

区分1
危険
H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
区分2
区分2B
区分4
区分3(麻酔作用)
警告
H315+H320: 皮膚刺激、眼刺激
H332: 吸入すると有害
H336: 眠気やめまいのおそれ

皮膚腐食性・刺激性
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性
急性毒性(吸入:ミスト)
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)
注意喚起語
危険有害性情報

絵表示又はシンボル



環境に対する有害性

水生環境慢性有害性
注意喚起語
危険有害性情報

区分2
なし
H411: 長期的影響により水生生物に毒性

絵表示又はシンボル



物理化学的危険性

可燃性・引火性エアゾール
注意喚起語
危険有害性情報

区分2
警告
H223: 可燃性、引火性のエアゾール
H229: 熱すると爆発の恐れ

絵表示又はシンボル



注意書き

【安全対策】

- P101+P102+P103: 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。子供の手の届かないところに置くこと。使用前にラベルをよく読むこと。
- P210: 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
- P211: 裸火または他の着火源に引火しないこと。
- P251: 加圧容器: 使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
- P281: スプレーの吸入を避けること。
- P264: 取扱後は手をよく洗うこと。
- P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P273: 環境への放出を避けること。
- P280: 保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

【応急措置】

- P301+P310: 飲み込んだ場合は、ただちに医師に連絡すること。
- P311: 吐かせず、医師に連絡すること。
- P302+P352: 皮膚に付着した場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。
- P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P304+P340: 吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312: 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- P305+P351+P338: 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313: 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- P391: 漏出物を回収すること。

【保管】

- P410+P412: 日光から遮断し、50°C以上の温度に暴露しないこと。
- P406: 施設して保管すること。

【廃棄】

- P501: 内容物、容器を地域の規則に従って廃棄すること。または、内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

追加情報

なし

STATEMENT ON % OF MIXTURE CONTAINING INGREDIENTS(S) WITH UNKNOWN ACUTE TOXICITY

なし

3. 組成及び成分情報

危険有害成分

化学名(成分名)	CAS No.	含有量(質量比)	官報公示整理番号
Aliphatic petroleum distillates	84742-89-8	20-25%	-
インプタン	75-28-5	10-14%	2-4
プロパン	74-98-6	3-5%	2-3

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

ただちに医師に連絡すること。
吐かせず、医師に連絡すること。

予想される急性症状

吸入：高濃度で吸入すると麻酔作用があり、ふらつき、めまい、眠気、頭痛、意識喪失。
粘膜および気道への刺激の恐れあり。
故意また誤って高濃度の吸引をすると、人体に有害で、死に至る恐れがある。
皮膚：脱脂による乾燥。
眼：刺すような痛み、充血、流涙。
経口摂取：吐き気、嘔吐、下痢。
脂肪族石油蒸留物が含まれており、製品を大量に飲み込むと嘔吐や肺への溶剤の吸引になります。

予想される遅発性症状

高濃度の吸入によって、喘息や心臓障害など既往症を悪化させる恐れあり。
皮膚：赤くなる、火傷、乾燥、ひび割れ。
眼：なし
経口摂取：胃腸障害。

5. 火災時の措置

消火剤

ほやの場合：ドライケミカル、二酸化炭素、泡、水霧、不活性ガス(窒素)
大きく燃えている場合：泡、水霧、ウォーターズプレー
※炎に直接、水をかけないでください。水によって広範囲に炎が広がる恐れがあります。
※破裂防止のため、容器を冷ましてください。

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。
製品の蒸気は空気より重い。
引火性の内容物は、水より軽い。
着火原因になりうるものは、いたるところにあります。全ての着火源から製品を離してください。
危険有害な分解生成物は、炭素及び窒素の酸化物、珪素、煙、すす、未燃炭化水素。

消火を行う者の保護

加圧式フルフェイス製の自給式呼吸器を着用してください。また、空の容器を冷却することにより爆発を防げます。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

全ての着火源を取り除く。
流出物を、素手や素足で触らないようにし、また素肌に触れないようにする。
濃縮された流出物を処理する際は、ニトリル、ラテックス、ゴム手袋と、保護眼鏡、およびゴム/プラスチック製のブーツを使用します。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火災の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化方法

製造中や輸送中に大量に流出した場合は、砂、土、パーミキュライト、珪藻土などの不活性材料でこぼれを吸着させてください。固形物はすくい上げて掃き取ってください。
RCRAのD001有害廃棄物(発火性廃棄物)などの処分のための閉鎖可能な容器に移します。
内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
※缶内の液体濃縮物はRCRAのD001有害廃棄物です。
一般消費時における少量の流出の場合は、ペーパータオル、新聞に吸着させ密閉できる容器に回収し、内容物、容器を地域の規則に従って廃棄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項

子供の手の届かないところに置くこと。
使用前にラベルをよく読むこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
加圧容器：使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
スプレーの吸入を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋、保護眼鏡を着用すること。

保管条件

日光から遮断し、50°C以上の温度に暴露しないこと。
 施錠して保管すること。
 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。一禁煙。

B. ばく露防止及び保護措置

換気

製造環境では、TLV以下の暴露限界を維持するために人工呼吸器や大規模なオープンエリアを使用しています。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

呼吸器の保護具

製造環境では、Aliphatic petroleum distillatesが許容濃度を超えるためNIOSH/MSHAによって承認された人工呼吸器を使用しています。
 Aliphatic petroleum distillatesが許容濃度を超過している場合はNIOSH/MSHAによって承認された人工呼吸器が必要です。

眼の保護具

製造環境において、化学スプラッシュゴーグルが必要です。
 保護眼鏡を着用してください。

皮膚及び身体の保護具

製造環境では、例えば、ニトリル、ラテックス、またはネオプレンなどの抵抗性手袋が必要とされます。
 手肌の敏感な方は、ニトリル、ラテックス、またはネオプレン手袋を使用することをお勧めします。
 製造環境では、不透性の衣服やブーツによって大流出からの曝露を防止することが推奨されています。

衛生対策

皮膚に付着したり眼に入ったりしないように注意し、スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は、石鹸を使用し水で手をよく洗うこと。

暴露制限

化学名(成分名)	CAS No.	規制 (5/27/2016)	推奨 (5/27/2106)	
		OSHA PEL 8 hr TWA	NIOSH REL 10 hr TWA	AOGIH 8 hr TWA
Aliphatic petroleum distillates	64742-89-8	500 ppm	86 ppm	247 ppm (reciprocal calculation method)
イソブタン	75-28-5	not established	800 ppm	15 minute STEL: 1000 ppm
プロパン	74-98-6	1000 ppm	1000 ppm	Monitor minimal oxygen content to prevent asphyxia

9. 物理的及び化学的性質(製品の濃縮内容物)

概観	白色液体
臭気	レモン
形状	液状乳剤
Ph	7.6
比重(水=1)	0.91
融点・凝固点	6°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	88°C
溶解度 水	ほぼ溶解しない
オクタノール・水分配係数	estimated Log Kow ~ 6
粘度	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(air = 1)	1.4
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	1
引火点	15 °C (59 °F) (emulsion) <<0 °C (<<32°F) (propellant)
燃焼性(固体、ガス)	可燃性エアゾール
爆発範囲	UEL: 9%; LEL: .9%
自然発火温度	232°C
分解温度	データなし
エアゾール製品VOC	37%(40 CFR 59 Subpart C or CARB Method 310) (calculated)

10. 安定性及び反応性

反応性 反応なし

安定性	通常の使用および保管条件下で安定です。 しばらく置いておくと二層に分かれます。振ると元に戻ります。
湿触危険物質	発火源、過度の熱、過酸化物、過マンガン酸塩、硝酸塩、亜硝酸塩、塩素ガスのような強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	Aliphatic petroleum distillates、蒸気、炭素、窒素および酸素の酸化物
危険な重合	発生しない。

11. 有害性情報

暴露の可能性が高い経路 エアゾールスプレーの吸入、皮膚への付着、眼に入る。

吸入	経皮	経眼
暴露による急性症状		
高濃度で吸入すると麻酔作用があり、ふらつき、めまい、眠気、頭痛、意識喪失。 粘膜および気道への刺激の恐れあり。 故意また誤って高濃度の吸引をすると、人体に有害で、死に至る恐れがある。	脱脂による乾燥。	刺すような痛み、充血、流涙。
暴露による遅発性症状		
高濃度の吸入によって、喘息や心臓障害など既往症を悪化させる恐れあり。	赤くなる、火傷、乾燥、ひび割れ。	
慢性暴露の影響		
不明	不明	不明

経口LD50値 非毒性、16CFR1500あたり(OPSO連邦有害物質法) ; FHSA急性経口毒性スクリーンで5000ミリグラム/キログラムの経口投与量で死亡率は認められませんでした。

吸入LC50値 不明。テストされていません。推定されません。

経皮LD50値 不明。テストされていません。推定されません。

発がん性 この製品には、ACGIH、IARC、NTP、OSHA、および/またはProposition 65に記載された発がん性物質が0.1%以上の濃度で含まれていることはありません。

12. 環境影響情報

水生毒性LC50値 データなし。推定<1 mg / Lで(石油炭化水素)
生分解性 データなし。この混合物の一部のコンポーネントは容易に生分解されないと推定されています。
生体蓄積性 データなし。この混合物の一部のコンポーネントは、生物蓄積と推定されています。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
配水管または水路へ廃棄してはならない。
汚染容器及び包装 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。または、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。または、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14. 輸送上の注意

国連分類 取扱及び保管上の注意事項による他、エアゾール製品の一般的な注意による。
国連番号 クラス 2.1
1950

15. 適用法令

労働安全衛生法 危険物(引火性高压ガス)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)ブタン(政令番号:9-482)
消防法 危険物 第4類第1石油類(非水溶性液体)
高压ガス保安法 高压ガス保安法施行令(平成9年政令第20号)第2条第3項第8号及び平成9年3月通商産業省告示第139号高压ガス保安法施行令関係告示第4条第3号に定められた基準に合致している。
船舶安全法 高压ガス(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法 高压ガス(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法 危険物・高压ガス(法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二イ)

16. その他の情報
参考文献

17 CCR 94509 Standards for Consumer Products
16 CFR 1500 (CPSC)
29 CFR 1910 (OSHA)
40 CFR 300-399 (EPA)
40 CFR 59 Subpart C (EPA Consumer Products VOC Regulations)
49 CFR 172.101 (DOT)
ACGIH 2015 Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents
California Code of Regulations; Title 8, Div 1, Ch 4, Subchapter 7, Group 16 (PEL and STEL for Air Contaminants)
Globally Harmonized System of Classification and Labeling of Chemicals, United Nations, ST/SQ/AC.10/30/Rev.5
International Agency for Research on Cancer (IARC) monograph search
National Toxicology Program (NTP) status search
NIOSH Pocket Guide to Chemical Hazards
Persistent, Bioaccumulative, and Toxic Profiles Estimated for Organic Chemicals
Proposition 65 List: Chemicals Known to the State to Cause Cancer or Reproductive Toxicity, May 11 2015
Proposition 65 Status Report on No Significant Risk Levels for Carcinogens and Maximum Allowable Dose Levels for Chemicals Causing Reproductive Toxicity, 08/15/2013
The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

免責事項

この安全データシートに記載の情報は、作成時点で正確であると考えられている技術データや推計、またはテストに基づいたものです。
また、記載事項は、通常の取扱いを対象としたものです。
これらは、製品特性のいずれかを保証するものではありません。
安全データシートの作成者は、製品の取扱いや接触に起因するいかなる損害についても責任を負いません。